

## 総務建設産業常任委員会視察研修

平成26年11月4日(火)～5日(水)

研修先 大分県大分市、宇佐市など

### ◆国道442号道路改良

八女市黒木バイパス、久住区間道路視察

### ◆大分川ダム建設状況

昭和45年に予備調査に着手し、44年を経過し現在に至っている。

全体事業費967億円、ダム目的①洪水調整②河川の環境保全③水道用水の確保  
長期の事業であり計画通りに進捗することを願う。



大分川ダム建設視察

### ◆株式会社アクトいちごファーム



アクトいちごファーム施設視察

大分県では、地域農業や地域経済の担い手発展のため企業の農業参入を推進している。アクトいちごファームも農業参入企業の一社である。現在栽培面積230aを11名の従業員で運営、年商1億円を売り上げている。ここの経営や全国的に大規模化しつつある施設園芸、大木町においても今後、高収益型農業の大規模化による雇用型農業の確立と推進の必要性を感じた研修だった。

## 文教厚生常任委員・教育委員合同学校訪問

平成26年11月12日(水)

町内各小中学校

各学校より学校運営に関する説明があり、次に具体的な施設改善要望が出された。

建物の老朽化に伴う雨漏りや外壁の剥離が全体に見られ、特に中学校のバックネットを支える支柱の老朽化が進んでおり改善要望が出された。児童・生徒の安全を最優先とし、優先順位をつけ、改善を進めていくことを確認した。



大莞小学校 外壁の剥離



大溝小学校 体育館の雨漏り



木佐木小学校 ピオトープ



大木中学校 バックネット支柱の老朽化